

23 グループワークトレーニング



ゲームを通して集団の力を高めよう！

- 目的：集団としてのメンバーシップを高める。
集団が集団として機能するために必要な技能を身に付ける。
- 対象：小学生高学年～
- 人数：160人程度
(1グループの人数はA～Cによって異なる。)
- 時間：1～2時間
- 経費：なし
- 準備
 - <団体>
 - ・事前にグループ分けをしておく。
 - ・当所指導：事前打ち合わせ
 - ・付箋(1グループ1冊…50mm×15mm程度の付箋)
 - <自然の家>
 - ・使用道具

A 超大人気とんこつラーメン屋

●概要 情報カードをもとに、口頭のみで情報交流しながら、ラーメン屋の座席表を推測する。

●対象 小学校高学年以上程度

●時間 約1時間30分

●人数 1グループ（5～7人）チーム ※160人程度

●準備物 「超大人気とんこつラーメン屋」解説カード
「超大人気とんこつラーメン屋」情報カード
（1チーム1セット）
ラーメンの座席表、付箋、筆記用具
振り返りシート

●進め方

- ① 引率者は、事前にグループ分けを行い、準備物をグループに配布し、活動のねらい（メンバーシップやグループの力を高める等）について研修生と確認をする。
- ② 活動を以下のルールに基づいて行う。
- ③ できあがった座席表の答え合わせをする。
- ④ 振り返りシートを用いて、個人の振り返りを行う。その後、個人の振り返りをグループ内で紹介し合う。
- ⑤ 各グループで話された内容を紹介しながら、活動のねらいが達成できたかまとめる。

●ルール

- 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。
- 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。
- 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。（メモはよい。）
- それぞれのメンバーとその情報を尊重する。

超大人気とんこつラーメン屋(解説カード)

趣旨	<p>集団の一員としての意識を高め、集団が集団として機能するためのメンバーシップやリーダーシップを養う。</p>	
主なねらい	<p>(1) グループに与えられた様々な情報を整理し、協働作業によって結果を導き出す方法を学ぶ。</p> <p>(2) グループのメンバーが持っている情報を、対話を通して交流し、プログラム展開能力(決断力、計画性、創造性、技術的なスキル)を生かすことによって、グループの力が高まることを感じる。</p> <p>(3) 課題を解決するプロセスにおいて、グループのメンバーの個性や受容的な雰囲気の大切さを理解する。</p>	
対象者	<p>小学校高学年以上 160人(1チーム5~7人)</p>	
活動の流れ 所要時間	時間 (分)	活動内容
	10	<p>1 ねらいを確認し、課題を提示する。</p> <p>【課題】</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>ここは南さつま市で有名なとんこつラーメン屋さんです。地元で育った豚の豚骨や野菜を使って煮込んだスープは親方の自信作です。いつも店内の座席は満席で、お店の外には行列ができています。今、時刻はお昼の12時で、店内は満席です。しかし、どこにどんな人が座っているかわかりません。それぞれに持っている情報を出し合って、誰がどこに座っているか、みんなで座席表を作り上げてください。</p> <p>制限時間は30分間です。</p> </div>
	40	<p>2 ルールの確認をし、進め方に沿ってグループで課題に取り組む。</p> <p>【ルール】</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> <p>① 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。</p> <p>② 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。</p> <p>③ 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。</p> <p>④ それぞれのメンバーとその情報を尊重する。</p> </div>

		<p>【進め方】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 情報カードの情報をもとに、座席表を完成させる。</p> <p>② 付箋1枚に1名の名前を書き、位置を考えながら、付箋を座席表に貼る。(メモの取り方のヒントは、発達段階に応じて行う。)</p> <p>③ すべて付箋を貼り終わったら、座席表にマジックで記入する。</p> <p>④ 時間になったら、解答の座席表を配り、グループで確認する。</p> </div> <p>10 3 結果発表をし、答え合わせをする。</p> <p>30 4 振り返りシートを活用して、個人の振り返りをする。</p> <p>5 個人の振り返りをグループ内で共有する。</p> <p>6 気づいたことや学んだことをもとにまとめをする。</p>
事前の準備		<p>【自然の家】…情報カード、ラーメン屋の座席表、振り返りシート</p> <p>【引率者】…グループの編成、グループ数分の付箋 引率者の役割分担、配置</p> <p>【研修生】…筆記用具</p>
備考		<p>1 グループワークトレーニングのねらいを明確にする。</p> <p>2 それぞれの考えが違って、互いの意見を尊重するように指導する。また、臆さず言い合える雰囲気をつくり、一緒に結論を練り上げるように指導する。</p> <p>3 メンバーやグループを観察したり、集団の力を高める言動等を賞賛したり、必要な助言を行ったりする。</p> <p>4 研修生から出た気づきや学んだことを通して、まとめの中で集団が集団として機能するために大切なことをコメントする。</p>

「超大人気とんこつラーメン屋」振り返りシート

1 あなたのグループは協力して作業できましたか？

- () 十分できた () できた
() あまりできなかった () できなかった

2 グループで協力して作業して、課題を達成することで「グループの力」は強くなったと思いますか？(どのような点からそう思いますか。具体的に書いてみましょう。)

- () 強くなった () 少し強くなった
() あまり強くならなかった () 変わらない

3 グループや他のメンバーがどんな役割をしていたのか考えてみましょう。あてはまる人がいない場合には、書かなくてもよいです。

	質 問	あてはまる人の名前(複数可)
①	みんなの意見を聞いてまとめようとしていた人は？	
②	意見をたくさん出した人は？	
③	よい考えを出した人は？	
④	よい考えをほめていた人は？	
⑤	解答等を積極的に書いた人は？	

4 その他、気付いたことや学んだことを書きましょう。

B 先生だけの宿泊棟

●概要 情報カードをもとに、口頭のみで情報提供しながら、先生たちの宿泊棟の配置を推測する。

●対象 小学生高学年以上

●時間 約1時間30分

●人数 1グループ（7～8人）チーム ※160人程度

●準備物 「先生だけの宿泊棟」解説カード
「先生だけの宿泊棟」情報カード（1チーム1セット）
宿泊棟の配置図、付箋、筆記用具
振り返りシート

●進め方

- ① 引率者は、事前にグループ分けを行い、準備物をグループに配布し、活動のねらい（メンバーシップやグループの力を高める等）について研修生と確認をする。
- ② 活動を以下のルールに基づいて行う。
- ③ できあがった配置図の答え合わせをする。
- ④ 振り返りシートを用いて、個人の振り返りを行う。その後、個人の振り返りをグループ内で紹介し合う。
- ⑤ 各グループで話された内容を紹介しながら、活動のねらいが達成できたかまとめる。

●ルール

- 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。
- 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。
- 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。（メモはよい。）
- それぞれのメンバーとその情報を尊重する。

先生だけの宿泊棟(解説カード)

趣旨	集団の一員としての意識を高め、集団が集団として機能するためのメンバーシップやリーダーシップを養う。	
主なねらい	(1) グループに与えられた様々な情報を整理し、協働作業によって結果を導き出す方法を学ぶ。 (2) グループのメンバーが持っている情報を、対話を通して交流し、プログラム展開能力(決断力、計画性、創造性、技術的なスキル)を生かすことによって、グループの力が高まることを感じる。 (3) 課題を解決するプロセスにおいて、グループのメンバーの個性や受容的な雰囲気の大切さを理解する。	
対象者	小学校高学年以上 160人(1チーム7～8人)	
活動の流れ 所要時間	時間 (分)	活動内容
	10	1 ねらいを確認し、課題を提示する。 【課題】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ペガちゃん小学校(中学校)の子供たちが、南薩少年自然の家に宿泊学習に来ました。ペガちゃん小学校の先生たちは、クロツラヘラサギ宿泊棟に宿泊予定です。しかも、その宿泊棟は、先生だけが宿泊しています。また、どの部屋も同じ広さだそうです。 そこで、子供たちは、自分たちの持っている情報を出し合い、「クロツラヘラサギ宿泊棟」の配置図を作ることになりました。 さあ、みなさんもがんばって、配置図を完成させてください。 制限時間は30分間です。 </div>
	40	2 ルールを確認をし、進め方に沿ってグループで課題に取り組む。 【ルール】 ① 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。 ② 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。 ③ 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。 ④ それぞれのメンバーとその情報を尊重する。

	<p>10</p> <p>30</p>	<p>【進め方】</p> <p>① 情報カードの情報をもとに、配置図を完成させる。</p> <p>② 付箋1枚に1名の先生の名前を書き、位置を考えながら、付箋を配置図に貼る。(メモの取り方のヒントは、発達段階に応じて行う。)</p> <p>③ すべて付箋を貼り終わったら、配置図にマジックで記入する。</p> <p>④ 時間になったら解答の配置図を配り、グループで確認する。</p> <p>3 結果発表をし、答え合わせをする。</p> <p>4 振り返りシートを活用して、個人の振り返りをする。</p> <p>5 個人の振り返りをグループ内で共有する。</p> <p>6 気付いたことや学んだことをもとにまとめをする。</p>
<p>事前の準備</p>		<p>【自然の家】…情報カード、宿泊棟の配置図、振り返りシート</p> <p>【引率者】…グループの編成、グループ数分の付箋 引率者の役割分担、配置</p> <p>【研修生】…筆記用具</p>
<p>備考</p>		<p>1 グループワークトレーニングのねらいを明確にする。</p> <p>2 それぞれの考えが違って、互いの意見を尊重するように指導する。また、臆さず言い合える雰囲気をつくり、一緒に結論を練り上げるように指導する。</p> <p>3 メンバーやグループを観察したり、集団の力を高める言動等を賞賛したり、必要な助言を行ったりする。</p> <p>4 研修生から出た気づきや学んだことを通して、まとめの中で集団が集団として機能するために大切なことをコメントする。</p>

「先生だけの宿泊棟」振り返りシート

1 あなたのグループは協力して作業できましたか？

- () 十分できた () できた
() あまりできなかった () できなかった

2 グループで協力して作業して、課題を達成することで「グループの力」は強くなったと思いますか？(どのような点からそう思いますか。具体的に書いてみましょう。)

- () 強くなった () 少し強くなった
() あまり強くならなかった () 変わらない

3 グループや他のメンバーがどんな役割をしていたのか考えてみましょう。あてはまる人がいない場合には、書かなくてもよいです。

	質 問	あてはまる人の名前(複数可)
①	みんなの意見を聞いてまとめようとしていた人は？	
②	意見をたくさん出した人は？	
③	よい考えを出した人は？	
④	よい考えをほめていた人は？	
⑤	解答等を積極的に書いた人は？	

4 その他、気付いたことや学んだことを書きましょう。

C 地図を作ろう！

●概要 情報カードをもとに、口頭のみで情報交流しながら、町の地図を完成させる。

●対象 中学生以上程度

●時間 約1時間30分

●人数 1グループ（4～5人）チーム ※ 160人程度

●準備物 「地図を作ろう！」解説カード
「地図を作ろう！」情報カード（1チーム1セット）
白地図、付箋、筆記用具、振り返りシート

●進め方

- ① 引率者は、事前にグループ分けを行い、準備物をグループに配布し、活動のねらい（メンバーシップやグループの力を高める等）について研修生と確認をする。
- ② 活動を以下のルールに基づいて行う。
- ③ できあがった地図を解答する。
- ④ 振り返りシートを用いて、個人の振り返りを行う。
その後、個人の振り返りをグループ内で紹介し合う。
- ⑤ 各グループで話された内容を紹介しながら、活動のねらいが達成できたかまとめる。

●ルール

- 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。
- 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。
- 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。（メモはよい。）
- それぞれのメンバーとその情報を尊重する。

地図を作ろう！（解説カード）

趣旨	集団の一員としての意識を高め、集団が集団として機能するためのメンバーシップやリーダーシップを養う。	
主なねらい	(1) グループに与えられた様々な情報を整理し、協働作業によって結果を導き出す方法を学ぶ。 (2) グループのメンバーが持っている情報を、対話を通して交流し、プログラム展開能力（決断力、計画性、創造性、技術的なスキル）を生かすことによって、グループの力が高まることを感じる。 (3) 課題を解決するプロセスにおいて、グループのメンバーの個性や受容的な雰囲気の大切さを理解する。	
対象者	中学生以上 160人（1チーム4～5人）	
活動の流れ 所要時間	時間 (分)	活動内容
	10	1 ねらいを確認し、課題を提示する。 【課題】 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> ここは鹿児島県のA市です。このA市の商店街には、いろいろなお店や建物、施設があります。しかし、皆さんの目の前にあるのは白地図のみです。ヒントは、それぞれが持っている40枚の情報カードのみです。情報を出し合い、どこにどんな店や建物、施設があるかを考えて、地図を完成させてください。制限時間は50分間です。 </div>
	50	2 ルールの確認をし、進め方に沿ってグループで課題に取り組む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> 【ルール】 ① 各々が情報カードから得た情報は、友達に見せたり、渡したりせず、口頭のみで情報提供を行う。 ② 自分の情報カードと友達の情報カードを取り換えない。 ③ 情報は、そのまま紙に書き写したり、一覧表にしたりしない。 ④ それぞれのメンバーとその情報を尊重する。 </div>

		<p>【進め方】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>① 情報カードの情報をもとに、白地図を完成させる。</p> <p>② 付箋1枚に1つの施設名等を書き、位置を考えながら、付箋を白地図に貼る。(メモの取り方のヒントは、発達段階に応じて行う。)</p> <p>③ すべて付箋を貼り終わったら、白地図にマジックで記入する。</p> <p>④ 時間になったら、解答の白地図を配り、グループで確認する。</p> </div> <p>10 3 結果発表をし、答え合わせをする。</p> <p>20 4 振り返りシートを活用して、個人の振り返りをする。</p> <p>5 個人の振り返りをグループ内で共有する。</p> <p>6 気づいたことや学んだことをもとにまとめをする。</p>
事前の準備		<p>【自然の家】…情報カード、白地図、振り返りシート</p> <p>【引率者】…グループの編成、グループ数分の付箋 引率者の役割分担、配置</p> <p>【研修生】…筆記用具</p>
備考		<p>1 グループワークトレーニングのねらいを明確にする。</p> <p>2 それぞれの考えが違って、互いの意見を尊重するように指導する。また、臆さず言い合える雰囲気をつくり、一緒に結論を練り上げるように指導する。</p> <p>3 メンバーやグループを観察したり、集団の力を高める言動等を賞賛したり、必要な助言を行ったりする。</p> <p>4 研修生から出た気づきや学んだことを通して、まとめの中で集団が集団として機能するために大切なことをコメントする。</p>

「地図を作ろう！」振り返りシート

1 あなたのグループは協力して作業できましたか？

- () 十分できた () できた
() あまりできなかった () できなかった

2 グループで協力して作業して、課題を達成することで「グループの力」は強くなったと思いますか？(どのような点からそう思いますか。具体的に書いてみましょう。)

- () 強くなった () 少し強くなった
() あまり強くならなかった () 変わらない

3 グループや他のメンバーがどんな役割をしていたのか考えてみましょう。あてはまる人がいない場合には、書かなくてもよいです。

	質 問	あてはまる人の名前(複数可)
①	みんなの意見を聞いてまとめようとしていた人は？	
②	意見をたくさん出した人は？	
③	よい考えを出した人は？	
④	よい考えをほめていた人は？	
⑤	解答等を積極的に書いた人は？	

4 その他、気付いたことや学んだことを書きましょう。